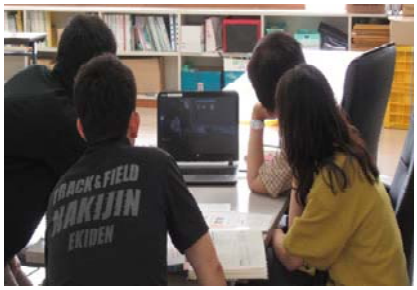

今帰仁村立今帰仁中学校　学校便り『一生懸命がかっこいい』（第９号）　令和元年６月５日（水）

一生懸命がかっこいい

授業改善に向けて

公開授業月間２

公開授業月間

　先日発行した，授業改善・公開授業月間の第２弾です。先生方の授業改善に取り組んでいる様子を紹介します。（今回も職員室だよりの内容です）

数学科の取組

　授業公開月間がスタートしています。公開授業の充実を図るため，「チームとして授業改善に臨み，求められる授業像，思考力・判断力・表現力の育成を追求しよう」と５月の経営の重点で伝えました。各教科が取り組んでいる中，特に工夫が見られ，頑張っている数学科の取り組みを紹介します。

　まずは，教科会の工夫です。英先生がこれまで実践した，模擬授業の取り組み（課題の意図や発問）を数学科みんなで確認しているところです。また，英先生は，授業改善リーダーとして授業を開き，授業後に板書の写真を基に，工夫した点や問いの意図をＡ４シートにまとめるなどの工夫を行っています。

　本校の教育理念である，子どもたちの夢を育むためには，確かな学力は必要不可欠です。確かな学力を身に付けさせるためには，我々教師の授業改善が絶対条件です。今後も各教科で，チームとして教科会の充実を図る。積極的に授業を開き，チームで授業改善に臨む。子どもたちの夢を育むために，よろしくお願いします。

TRACK&FIELD
NAKIJIN
EKIDEN

【教科会の様子】

【公開授業の様子】

学校便り
発行
大城正章

教育目標

一　自ら学び深く考える生徒
一　明るく思いやりのある生徒
一　ねばり強くたくましい生徒

恵先生の授業

　恵先生の授業で，さすがだなと思う場面が何度もありましたので紹介します。

　まず，生徒を上手に使いながら，２つの条件，筆者の意図を考えさせるような仕掛けを行い，目標を立てていること。グループ活動後の全体共有の前に，目標を再度確認し，生徒に本時のゴールのぶれを無くしていること。発表内容をサスペンスドラマのシナリオ風に例え，イメージ化を図ったこと。まとめを「事例の提示の仕方で工夫したことは」等のヒントを与えながらも，自力で考えさせたこと。考えがまとまらない生徒には，班のまとめボードを活用して自力解決を促したりなど工夫であり，まとめの場面では生徒が思考（本人なりの深い学び）をしている様子が見られました。

　最後に再び目標の確認があり，「単元のゴールにつなげたい」意見文を書く時に構成の工夫が必要だから」等，次時へつながる教師側のまとめを行う工夫も見られました。

　更にさすがだなと思ったのは，翌週（月）に行った授業の振り返りの際に，本人へ授業の改善点の確認をすると，本時の改善点を次のクラスですでに実践したとのことでした。「授業改善の姿勢，勉強になります」ありがとうございます。

【自分の言葉でまとめに向かう生徒】

道之先生の授業

道之先生の授業では，一年生ですが英語で号令（初めて見ました）を行い授業がスタートしました（とても素晴らしい取組だと思います）。「これまで何度か英語科の先生方に「オールイングリッシュの授業を求められていることから，学年の段階毎に必要な質問事項や会話を系統立てて教える必要があると思う」という話をしてきました。是非一年生の段階から様々な方法で，日常（授業で必要とする）の会話に触れ，英語におけるコミュニケーション能力を育成して下さい。

　さて授業は，しんちゃんワーク・単語一問一答，フラッシュカード，ａ/ａｍの復習とテンポよく進めていました。本時の山である「人を紹介しよう」では，ロールプレイの評価を生徒に示した後で，実際に見本を見せ，ペアによる練習後，ネビル先生・史帆先生から評価を受ける流れで進んでいきました。飽きがなく生徒に興味関心を持たせているため，生徒も積極的にペアと関わり課題に挑戦していました。

　まとめの場面で本時の授業と関連する教科書に戻り，追加情報も加えながら，ネビル先生のナチュラルスピード（本来の話す速さ）に，生徒は必死に英文の読みに取り組んでいました。振り返りでは，「何に気をつけて話をしましたか」という教師の問いに対する生徒の声を拾いながら「どうしたら相手に伝わるか」という，新たな問いを持たせながら授業を終えました。

【評価を受ける生徒】

今帰仁中学校の一事徹底事項：「人の話をしっかり聴く」